



三股町議会だより



↑  
三股町議会ホームページ

# みまたんぎかい

題字：村上 可帆さん (三股小6年)

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

Vol. 119

2025.6.1  
三股町議会発行



PHOTO：上米公園パークゴルフ場で楽しむ人達

三股町議会 第2回(令和7年3月)定例会報告…P2～P5

令和7年度 一般会計予算 145億6千万円を賛成多数で可決

そこが聞きたい!!!…P6～P15

裏表紙

一般質問…9名

どうする？議員のなり手不足！



花と緑と水のまち  
宮崎県 三股町

3月定例会を3月3日から24日までの22日間開催しました。令和7年度の一般会計予算をはじめ、各会計の当初予算、条例改正、補正予算など28議案が提案されすべて可決されました。

特に一般会計予算は昨年度より18億4千万も多く、過去最高の予算額となりました。予算委員会では多くの議員から様々な質疑がなされました。今回は、大きく増えた予算の内訳や新規事業及び重点事業、また議員から出た意見等についてお知らせします。

令和7年度の新規事業と重点取組実施事業のお知らせ①

3月18日から3日間にわたり、一般会計の予算委員会が開催され、各課から新規事業や重点事業について説明を受けました。議員から多くの質疑や意見が出されました。その中から主なものをお知らせします。

上米公園パークゴルフ場増設基本設計業務委託事業 960万円

上米公園パークゴルフ場の新規コースを整備するための基本設計を作るもの。現在の27ホールから36ホールへ増設するもの。



- Q キャンプ場や炊事場はなくなるんですか。
- A 増設にキャンプ場や炊事場の場所が必要なのか、既存のコースのレイアウト変更でできるのか、またキャンプ場を移転するならば適地があるのかなどをこの事業で明らかにするものです。

町公式ホームページ等多言語機能追加事業 334万円

各種 Web サイトの翻訳機能や災害情報配信システムにおけるアプリ内の各種情報、気象情報の自動配信、手動による避難情報等の配信等に多言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語）機能を追加するもの。

- Q 4つ以外の他の言語は追加できますか。
- A 追加はできますが、追加費用がかかります。

交流拠点施設整備事業設計委託業務 8,000万円

本会議で8,000万円を削除する修正案を



五本松交流拠点施設整備に関し、1期工事として、イベント広場・屋根付き施設（1,000㎡）及び屋内施設（500㎡）にかかる整備を令和7年度から令和9年度にかけて行うもので、総事業費6億9,000万円、令和7年度は実施設計8,000万円を行う。

- Q どのようにして事業者を決めるのですか。
- A 事前に企画運営をする事業者にエントリーしてもらい、その内容を実現できる設計・建設事業者とグループをつくって応募してもらうことを想定しています。
- Q この施設が出来たら、どれくらいの人が集められるかのシミュレーションはありますか。
- A 今のところそういうものはありません。
- Q 庁舎を移転し、一体的に整備するほうがよいと考えますが、どう思われますか。
- A 現在のところ、庁舎移転は考えていません。

交流拠点施設のイメージ図



委員会採決

委員会最終日、採決が行われ、この8,000万円の設計委託料に対し「この計画そのものに反対するものではないが、庁舎を移転し一体的に整備するため、この予算の執行を保留すべきだ」という付帯決議をつける提案がありましたが、賛成少数で否決されました。

本会議

役場庁舎とこの施設を一体化した方がよいという理由で8,000万円を削除する修正案が出されました。その提案理由として①将来、一体化が困難になる。②庁舎とこの施設の連携がとりにくくなる。③電気・水道・警備・清掃など維持管理及び運営コストが高くなる。というもので、その後、反対討論、賛成討論が行われ、採決の結果、賛成3名、反対7名で修正案は否決されました。

対前年度14.5%増  
18億4,000万円 内訳

義務的経費

令和6年度	69億4,623万円	昨年対比	+7.1%
令和7年度	74億4,053万円		
内訳	扶助費 3億2,637万円 (7.6%増)		
	人件費 2億1,149万円 (11.2%増)		

※法令などで義務づけられている経費。人件費、扶助費（生活保障など）、公債費（地方債の元利償還金）

経常的経費

令和6年度	49億3,500万円	昨年対比	+3.5%
令和7年度	51億9,599万円		
内訳	行政事務のデジタル化・委託業務の人件費の増 物価高騰による物件費の増 1億4,043万円 (6.7%増)		

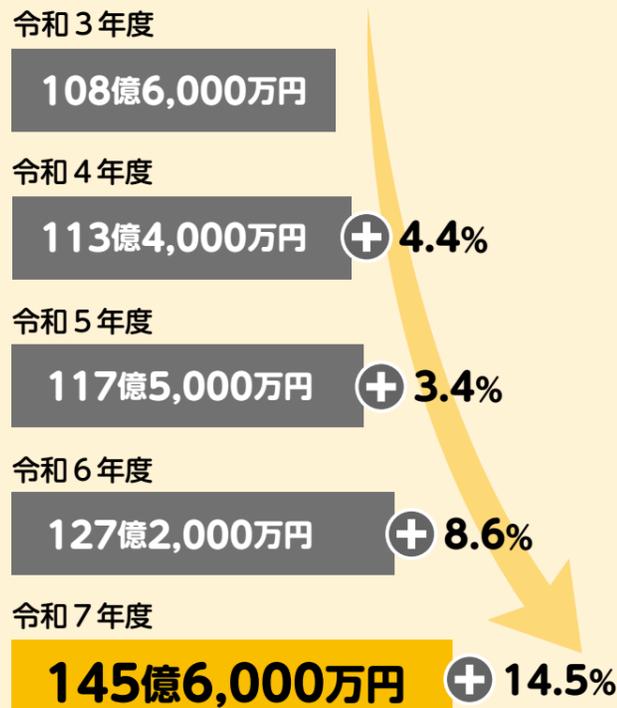
※現行の行政サービスや行政水準を維持していくために定期的に支出される経費。物件費、維持補修費、委託業務の人件費、補助費等

投資的経費

令和6年度	8億3,876万円	昨年対比	+139.6%
令和7年度	20億9,899万円		
内訳	脱炭素化推進事業 4億8,903万円		
	総合文化施設特定天井耐震改修事業 2億5,931万円		
	地域医療介護総合確保基金事業 2億4,449万円		
	都市部医師会病院心臓・脳血管センター整備事業 1億4,361万円		
	五本松交流拠点施設整備事業設計業務委託事業 8,000万円		

※支出の効果が資本形成に向けられ、道路や施設など将来に残るものに支出される経費。

当初予算の推移 (対前年度比)



# 令和7年度の新規事業と重点取組実施事業のお知らせ②

## 脱炭素化推進事業

4億8,902万6,000円

住民及び事業者向け再生可能エネルギー導入促進補助金  
6,922万7,000円

照明LED化  
(役場庁舎・元気の杜・2地区交流プラザ・宮村児童館・健康管理センター・公園、中央公民館・総合文化施設・武道体育館・給食センター) 1億9,367万7,000円

太陽光発電設備等  
(元気の杜・三股小学校・宮村小学校・給食センター)  
1億7,599万4,000円

総合文化施設自営線配線  
1,914万9,000円

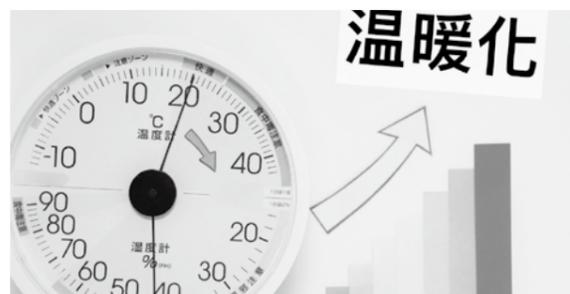


- Q 元気の杜と総合文化施設を自営線でなぜつなぐ必要があるのですか。
- A 文化会館の屋根が太陽光パネルを物理上設置できないためです。また、元気の杜で発電した電気を送ることで、電気を多く使う総合文化施設の脱炭素化に貢献するためです。

## 脱炭素化推進事業(普及促進)業務委託事業

500万円

脱炭素化推進を図るため補助事業の執行をまちづくり合同会社に委託するもので、計画的な補助執行を見込むほか、普及啓発事業の実施等により2050年のカーボンニュートラル・脱炭素社会への意識醸成とその実現を目指す。住民・事業者向けの補助金の受付や交付、事業活用PR、省エネ推進協議会の各業務を行う。



- Q どうして他の民間ではなく、まちづくり合同会社に委託したのですか。
- A 半官半民であるまちづくり合同会社は公共性も高く、また行政が行うよりPR等についてうまくできると考えています。

## フッ化物洗口事業

乳幼児期～学童期における1人平均虫歯有病者率が県平均や全国平均に比べて高い状況が続いているため、令和7年度より虫歯予防のため小学生を対象にフッ化物洗口事業に取り組む。週1回の実施予定。



- Q いつから、どのように始めますか。
- A 教職員向けと保護者向けに説明会を実施し、保護者の同意を得て始める予定です。10月以降になると考えてます。

## 婚活応援及び結婚新生活支援事業

1,429万4,000円

結婚を希望する独身者のニーズを踏まえ、それぞれが思い描いたライフイベントを描けるよう婚活スキル向上セミナー及び結婚に向けた出会い応援イベントを実施する。

また、少子化対策として、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる経費①住宅取得費 ②住宅リフォーム費用 ③家賃 ④引っ越し費用の一部を補助することで、若い世代の経済的負担軽減を図る。(上限30万円)



## 常任委員会研修報告

### 総務産業常任委員会

- 日程 令和7年1月27日(月)～28日(火)
  - 研修先 宮崎県新富町、大分県日出町
  - 目的 ①議会の活性化について ②議員報酬について ③議員のなり手不足について
- 両町とも議会活性化特別委員会を設置し、その対策に取り組んでいました。
- 本会議のYouTubeの録画配信やペーパーレス化も実施されています。また、議員と住民の意見交換会も年に複数回開催されています。
- 報酬は新富町28万8千円、日出町32万2千円、両町とも報酬に関して町民からの意見はなく、なり手不足も感じてないということでした。今後、これらを参考にしながら議会の活性化に取り組みたいと思います。
- ※本町報酬23万6千円



### 文教厚生常任委員会

- 日程 令和7年1月27日(月)～29日(水)
  - 研修先 長野県安曇野市、同県養老町、同県南箕輪村
  - 目的 ①子育て支援事業について ②放課後児童クラブについて ③こども家庭センターについて ④ファミリーサポート事業について ⑤文化保護等について ⑥持続可能な自治会について
- 3市町村とも子育て支援に力を入れており、地域の特性を活かしながら独自の施策を展開していることが印象的でした。
- 視察研修に参加した複数の議員が、3月議会の一般質問において他自治体の参考事例とする等、大変学びの多い研修となりました。



## 全議員で現地調査

3月17日、議員全員で方塚遺跡発掘調査の現場を視察しました。12月に文教厚生常任委員会が視察を行った後に地下式横穴墓が見つかったこと、3月末には調査が終了し埋め戻すことになることから、実物の視察を行ったところ。墓の中には鉄製の刀剣のようなものも発掘されており、どのような身分の人物が埋葬されていたのか今後の調査が楽しみです。



## ペーパーレスに向けて

今議会より、タブレット端末を使いペーパーレス化に向けた取り組みを始めました。これまで、事務局との連絡や会議招集通知などにしか使っていませんでしたが、議会のたびに行われている紙資料の印刷、配布、差し替え等の手間と時間が不要になり、大幅なコストカットになることを目指します。



## 1月臨時議会 一般会計補正予算(第9号) 低所得者給付金など5億2,513万5,000円



1月臨時議会が、1月31日に開催されました。物価高騰対策支援のための給付金などの補正予算と条例改正の2議案が上程され、いずれも全会一致で可決されました。以下、主な内容についてお知らせします。

低所得者給付金  
1億2,584万2,000円  
令和6年度住民税非課税世帯1世帯あたり3万円  
子ども世帯 1人あたり2万円追加

プレミアム付商品券発行事業  
1億5,663万6,000円  
販売金額 10,000円(500円×26枚=13,000円分)  
プレミアム率30% 発行数11,000セット  
購入上限1世帯2セットまで(多数の場合抽選)

飼料価格高騰対策支援金  
2,074万5,000円  
畜産農家の家畜の飼養頭数や餌の年間給与量に応じ支援する。  
対象農家牛(繁殖)75経営体、牛(肥育)10経営体、  
牛(酪農)7経営体、豚2経営体 合計94経営体

元議長に対する「損害賠償金」等について この臨時議会の一般会計補正予算(第9号)において、元議長が議会から違法な処分(除名)を科され名誉を棄損されたとして、町に損害賠償を求めた訴訟の判決確定に伴う賠償金も可決となりました。

損害賠償金ほか 89万6,000円 内訳 元議長に対する賠償金と延滞金 23万円 弁護士委託料 66万6,000円

# そこが聞きたい!

一般質問とは?

議員が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

傍聴者数  
延べ45名  
ありがとうございました。

## 三股町議会 第2回(令和7年3月)定例会 一般質問

質問者	通告された質問事項	頁
田中 光子	①デマンド交通について ②墓じまいについて ③GIGAスクール端末の更新について	7p
岩津 良	①各地区における廃棄物の処理(ごみ問題)リサイクル集積所の管理及び公民館加入率の関連について ②近隣公園の駐車整備について ③地方公務員(町職員)の働き方について	8p
中原 美穂	①自治公民館運営について ②公共下水道について ③交流拠点施設整備事業(五本松)について	9p
新坂 哲雄	①農業対策について ②家庭ゴミについて ③第5地区防災センターについて	10p
内村 立吉	①全国体力テストについて ②町税について ③福留用水路について ④上米公園整備事業について ⑤上下水道整備事業について	11p
堀内 和義	①放課後児童クラブ施設の現状と統廃合について ②家畜防疫対策について	12p
堀内 義郎	①自治公民館について ②大谷池下流域の年見川の整備について ③林道の整備について ④都市公園について ⑤少子化対策について	13p
楠原 更三	①職員心得10か条について ②地域公共交通計画について ③文化財について	14p
上西 雅子	①公民館支部加入率が低下している事の影響と対応策について ②交通弱者に対する移動サービスについて ③要支援者に対する防災対策について	15p

7p～15pは一般質問のやりとりの中から、質問した「議員自らが抜粋した内容」を掲載しています

一般質問  
「そこが聞きたい!」

Q 地域交通の展望は



たなかみつこ  
田中光子議員

(町長)

A デマンド交通に取り組んでいく

### デマンド交通について

Q デマンド交通の実証実験に踏み切った理由と結果はどうだったのでしょうか。

※デマンド交通…乗り合いタクシーのようなもの

A 町長

デマンド交通の仕組みについて、町民に知っていただくこと、地域ニーズに応じた運行の検証等を通じて、運行システムづくりの第1段階として取り組むものです。

結果は、会員登録者23名で18件の予約実績です。利用者のご意見では、病院利用者から診察時間に左右され、帰りの時間を事前に予約することが難しいとの意見がありました。

運転士、管理者の意見は、乗降順番の間違いやルート表示等や会員登録の仕方の改善が挙げられています。



デマンドバス

Q 住人ニーズに合った方法を選択することが大切だと考えますが、より使いやすく便利な交通の今後の展望をおきかせください。

A 総務課長

本町地域公共交通計画に照らし、運行に係る法規制、民間交通事情等や財源、費用対効果、運行管理等を考慮して実際に実現可能であるか検証したうえで、公共交通会議に諮りながら、住民、地域のニーズに少しでも応えられる運行を導いていきたいと考えます。現在は、デマンド交通システム構築に集中して取り組んでいるところです。

### 墓じまいについて

Q 墓じまいにかかる費用の一部の助成はできないのでしょうか。

A 環境水道課長

墓地返還に伴って必要になる費用ということかと思いますが、こうした費用に対する助成は、行っていないところです。

Q 「子供たちに負担が掛からない」「自分の想いに合っている」などがポイントでいろいろな形での埋葬が考えられますが、本町で樹木葬などの区画を設置できないのでしょうか。

A 環境水道課長

あり方・ありようについて、今後の状況も見ながら、町民の皆さまのご意見、また携わる主体のご意見など交えながら、必要があれば慎重に検討していきます。

### GIGAスクール端末について

Q \*GIGAスクール端末の処分に当たっては個人情報保護の対策はどうなっているのでしょうか。

※GIGAスクール端末…文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に1人1台配備される学習用端末です。パソコンやタブレットなどが該当します。

A 教育長

政府機関・大企業が採用するデータ消去方式を採用している小型家電リサイクル法認定事業者の中から、データ消去可能な業者へ依頼する方法を考えています。





いわつ 良 議員  
岩津 良議員

Q 近隣公園の駐車場整備はできないか

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(都市整備課長)

A 現在のところ考えていない

### 近隣公園の駐車場整備について

Q 町内の近隣公園と位置付ける(新馬場・稗田・植木・一町田など)公園において、駐車場を整備することを検討出来ないでしょうか。

A 都市整備課長

町内には、19箇所の都市公園があり、そのうち近隣公園は7箇所ございます。

近隣公園は、近隣に居住する方々の利用を目的とした公園として位置付けられているため、現在のところ、駐車場を整備することは考えていないところです。

### 廃棄物の集積所(ごみ問題)資源ごみ回収所の管理と公民館加入率について

Q ごみ集積所の鳥獣等による散乱防止等の為にごみ収集庫設置費用の補助は行えないでしょうか。

A 環境水道課長

現在、管理費用に対する補助は、行ってないところです。

費用への補助という形に限らず、どのような支援策が可能か、要する経費等も考慮しながら検討する必要があるかと考えております。



ごみステーション

Q 各地区の資源ごみ回収所において、仕分けをして頂いている推進員の欠員がおこった場合、どう対応するのでしょうか。

A 環境水道課長

現在、自治公民館からの推薦を経た推進員で体制を構築しておりますが、回収所の状態が推進員さんの努力で成り立っています。皆さんの力添えで維持できているということが大事ですので、欠員にならないように、地域の皆さんにまずはお願いしていくところに尽きるかと考えます。

Q 集積所の管理などが原因で、支部・公民館加入率の低下にもつながっています。地域のつながりを守る面でも、解決の為に手立ては考えられないでしょうか。

A 町長

公民館の今の現状を踏まえながら、町としての連携や、また集積所の扱いや費用負担を含めて、色んな協議をする必要があるのかなど、感じております。

各課題を取り上げていって、その解決策の回答についても、一緒に考えていかないと、すぐに答えが出る話ではないと思っています。

これは、以前からのテーマである中で、まだまだ解決が見えないところであります。

支部加入問題についても、公民館と町で連携しながら取り組むという上で、集積所の問題も協議をもって、方向はどうかはわかりませんが、一緒に検討はさせていただきたいと考えます。



資源ごみ回収所

一般質問  
「そこが聞きたい!」

Q 庁舎と交流拠点施設の一体化は



なかはらみほ 議員  
中原 美穂議員

(町長)

A 考えていない

### 交流拠点施設整備事業(五本松)について

Q PFI から PPP への移行が決定され、この枠組みを活かし、庁舎と交流拠点施設を一体化することで、行政機能と地域交流機能を兼ね備えた、より利便性の高い施設とすることができないでしょうか。

A 町長

基本計画の中で、「導入する機能と基本的な考え方」として「学び機能」「子ども子育て機能」「健康づくり機能」「買い物と食の機能」の4つの機能を備えた複合施設をつくることとしており、庁舎機能を兼ね備えることは考えておりません。

### 自治公民館運営について

Q 自治公民館が防犯灯の電気代を負担していますが、現在の設置基数とそのうちLEDに変更されたものはいくつありますか。また、都城市ではLED化に対する補助支援が行われていますが、三股町ではどのような方針であるのでしょうか。

A 総務課長

令和5年度までに1,809基、令和6年度設置見込み数13基を含めた3月末日時点で1,822基の設置を見込んでいます。

防犯灯の新設、修繕、移設・撤去等に関する事項は、『三股町防犯灯設置要綱』を設けており、新設・修繕の費用は町が負担し、移設・撤去費用は自治公民館が負担するとしております。

また、LED電球交換時



LED防犯灯

の負担については、町が購入して各年度に自治公民館を通じて配布しているところです。

### 下水道事業について

Q 蓼池地区の汚水処理整備は、公共下水道として進めるべきではないのでしょうか。

A 環境水道課長

「公共下水道事業運営審議会」におきまして、令和3年度「蓼池地区を『合併浄化槽区域』と指定する」旨の答申をいただき、現計画への反映を行ったところです。現計画に至った経過を踏まえ、見直しは考えておりません。

Q 企業誘致も含め、下水道整備を推進しないことによる地域の発展は考えられますか。

A 環境水道課長

企業誘致の観点で現時点では、誘致に大きな影響を与えるものではないと判断しております。

Q 多発する災害や南海トラフ地震、洪水などに対する町の具体的な対策はありますか。

A 環境水道課長

危機管理マニュアルを含む下水道版BCP(業務継続計画)の策定と、毎年度見直しにより備えています。





にい さか てつ お  
新坂 哲雄議員

## Q 耕作放棄地の農地は

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(農業振興課長)

A 農業振興地域の見直し(除外)を行いたい

### 農地対策について

Q 10年以上耕作していない農地対策は。

A 農業振興課長

今後、農地としての活用が見込めない土地の場合は、農業委員会で非農地判定の必要性を検討するとともに、課内等へ情報提供を行っています。当課では、地域の農業従事者や住民の意見等を聞き取りした上で、農業振興地域の見直し(除外)候補地への引き上げを判断します。

### 土地改良区の判断について

Q 耕作放棄地の土地改良賦課金の減免について指導はできないでしょうか。

A 農業振興課長

減免は、町内6つの土地改良区ごとの判断になります。

Q 水が来ない水田があるが、何か対策はないでしょうか。

A 農業振興課長

さまざまな外的要因により、今後も水が来る見込みがない水田は「畑地化促進事業」などの国の補助事業を活用しながら、畑地化への転換を検討する必要があるものと考えます。

### 家庭ごみステーション設置について

Q ごみステーション設置の支援はできないでしょうか。

A 環境水道課長

支援については、基本的事項を記載した看板を

貸与していますが、設置の費用は補助していません。どのような支援策が可能か、要する経費等も考慮しながら検討する必要があるかと考えております。

Q ごみステーションが散らかった状態を、どのように考えていますか。

A 環境水道課長

廃棄物を扱う観点から、環境美化が維持されていることが望ましいと考えます。

Q 役場周辺のごみステーションの環境美化を進めるべきではありませんか。

A 環境水道課長

ごみステーションでは、管理者と利用者により、日々適正に環境の保全・維持がされていますが、町への連絡、相談が寄せられる場合もあります。管理者へ、適切な管理の徹底や利用者への周知をお願いしています。

Q 家庭用ごみ袋を無料化できませんか。

A 環境水道課長

ごみ袋の製作費が高騰し、値上げを検討したいと考えているところです。

A 町長

家庭ごみが増えていく可能性がある状況では、今後も町民に有料のごみ袋を負担していただき、無料化は難しい現状です。



ごみステーション

一般質問  
「そこが聞きたい!」

## Q 全国体力テストの本町の状況は



うち むら たつ よし  
内村 立吉議員

(教育長)

A 小中学校は全国平均を上回っている

### 全国体力テストについて

Q 令和6年度小学5年生男子女子、中学2年生男子女子の全国体力テストの状況は。

A 教育長

実施8種目の結果を点数化した体力合計点は、各種目10点80点満点となっています。本町の小学5年生男子は平均52.77点で、全国52.5点を上回り、県53.64点を下回る結果でした。

小学5年生女子は平均56.91点で、全国53.9点と県55.25点を上回る結果でした。

中学生2年生男子は平均44.30点で、全国41.8点と県43.41点を上回る結果でした。

中学2年生女子は平均54.51点で、全国47.3点と県48.96点を大きく上回る結果でした。

また、中学校の設定基準が高く、合計点が低くなっています。

Q 今後の取り組みはどうなりますか。

A 教育長

全国体力テストの質問紙調査において、「運動が好き」「運動が大切」と回答した割合が、全国全国と県平均を上回っています。毎年、体力向上プランを作成しており、実態に即した取り組みを推進していきます。

### 町税について

Q 令和4年度から5年度にかけて、町税の収納率が減少している理由は。

A 税務財政課長

主な原因は、税務署からの所得税調査による追加徴収分と物価高騰や離職者の増加などが影響したと思われます。

今後の対策として、滞納者の状況に応じた納税相談などを継続していきます。

Q 町税の差し押さえ件数と充当金額の推移はどのような状況になっていますか。

A 税務財政課長

令和3年度が284件(約956万円)、令和5年度が239件(約560万円)となっており、減少傾向となっています。

### 福留用水路について

Q 令和6年度梅雨前線豪雨災害と、台風被害による福留用水路の復旧工事の状況について、今後の見通しはどうなっていますか。

A 農業振興課長

本年1月末に2箇所とも工事業者が決定しており、工事に着手しています。田植え時期に間に合うように5月末までに通水する予定です。

### 上米公園整備事業について

Q 上米公園パークゴルフ場の新規コース整備はどのような状況ですか。

A 都市整備課長

新規コース建設に向けて、測量業務と基本計画策定業務を実施するために今年度予算に計上しています。

Q 今後の計画はどうなっていますか。

A 都市整備課長

上米公園内の施設配置等を総合的に検討する必要があり、今年度に測量業務と基本計画策定業務を実施する予定です。



上米公園パークゴルフ場



ほり うち かず よし  
堀内 和義議員



放課後児童クラブの  
統廃合は

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(町長)

A 役場内部で検討していく

### 放課後児童クラブの現状と統廃合について

Q 町直営・民営の放課後児童クラブの施設数と定員数及び登録人数はどのようになっていますか。

A 町長

直営・民間で16施設です。定員818人を確保できていますが、登録人数は601人で民間での受け入れが進んでいることから直営は減少しています。

Q 直営施設の中で定員数に満たない施設の統廃合はできませんか。

A 福祉課長

東原、前目、蓼池クラブのように登録人数が定員を大幅に下回っているクラブがあります。今後の児童数減少に合わせ、直営クラブの統廃合で定員数調整を図っていく計画です。

Q 施設のスリム化、人件費の削減など統廃合を考えていかないと町政は成り立たないのでしょうか。

A 町長

放課後児童クラブに関しては、老朽化した施設はリニューアルや廃止など役場内部で検討します。

Q 直営施設から・民営施設への統廃合は考えていないのですか。

A 福祉課長

町の方針としては、放課後児童クラブの運営は、基本的に民間移行をすすめる計画としております。

### 家畜防疫対策について

Q 高病原性鳥インフルエンザの防疫体制は万全ですか。

A 農業振興課長

町内の養鶏農家を対象に、都城家畜保健衛生所を講師に防疫対策について研修会を行っています。

Q 野生イノシシの豚熱が発生していますが、防疫対策はされていますか。

A 農業振興課長

都城家畜保健衛生所を講師に豚熱の症状と防疫対策、農場への野生イノシシの侵入防止策について研修会を行っています。

野生イノシシの発生確認については、猟友会の協力を得て、捕獲した121頭の血液を採取、検査した結果すべて陰性でした。

Q 口蹄疫の防疫対策はされていますか。

A 農業振興課長

口蹄疫を防ぐための一番の取組みは、外国から侵入させない水際対策が必要です。県に対して「海外便が到着する空港、港湾における靴底消毒等の防疫対策強化」を要望しています。

品評会や子牛検査、総会、研修会などの機会をとらえて情報提供を行うとともに、防疫用薬剤や消石灰の散布も



家畜伝染病防止のための靴底消毒マット

一般質問  
「そこが聞きたい!」



自治公民館組織活動  
補助金の見直しを



ほり うち よし ろう  
堀内 義郎議員

(教育長)

A 検討していかなければならない

### 自治公民館組織活動補助金について

Q 世帯数の減少や物価高などにより、自治公民館の運営や維持管理の負担が増えています。組織活動補助金の交付基準は見直されていますか。

A 教育長

均等割額20万円、戸数割額700円、地域割額4万~10万円の範囲で、毎年30の自治公民館に対して総額1,200万円以上の助成金を交付しています。

今のところ見直しは行っていません。

Q 平成18年の答弁で均等割額、戸数割額、地域割額とも数十年前と同じであります。

自治公民館を所有している公民館もあり物価高などにより維持経費の負担が大きいが、見直すべきではないですか。

A 教育長

今のところ見直しについては考えていません。必要ができた時は検討していかなければならないと考えます。



谷自治公民館

### 都市公園について

Q 植木公園について遊具の新規設置に伴い利用者が増えています。

駐車場を新たに増やして欲しいとの要望を聞きますが整備は出来ませんか。

A 都市整備課長

近隣公園に分類されており、主に近隣に居住する方々の利用を目的とした公園として位置付けされています。

当公園の目的を考慮し、現在のところ新たな駐車場を整備する事は考えていません。今後の利用状況等について注視していきます。

Q 自転車で訪れる機会が増えていますが、自転車置き場の整備は考えられないのでしょうか。

A 都市整備課長

状況をみながら判断していきたいと思えます。

Q 公園の数が大小合わせて人口に対して多いとあります。

町の公式サイトや二次元コードなどを掲載して公園の整備状況など紹介できませんか。

A 都市整備課長

旭ヶ丘運動公園や上米公園など主な公園については、町観光協会の公式サイトにおいて確認できる状況ですが、各公園の整備状況等については確認することが出来ません。

町の公式サイト等において、まちの魅力のひとつとして公園を紹介するなど、子育て世帯の定住促進に寄与できるよう対応を検討していきます。



植木公園の北側入口



楠原 更三議員



『職員の心得』策定後の所感は

一般質問  
「そこが聞きたい!」

(町長)

A 成果を実感している

### 役場での町民サービスのあり方

Q 職員の心得 10 か条の前文に、「町民が幸せと感じる役場を目指すために、働く職員もそれを目指す必要があります。町長を含めて職員が同じ方向を向いて、仕事を進めるために」策定したとあります。策定から4年経過しました。その後の取り組みと成果についての所感は。

A 町長

取り組みとしては、水曜日の朝礼時に各係単位で唱和を行うと共に、人事評価の際に、その実効性の成果を判断材料の一つとしており、町の目指す職員像を示すことができるなどの成果を実感しています。目に見える変化につきましては、職員係に寄せられた接遇に関する苦情案件が減少すると共に、感謝の言葉や高評価を頂いたケースがあるなど成果を実感しています。

Q 職員の心得を知らない町民がいらっしゃることも事実ですが、周知状況と今後の対策は。

A 総務課長

町民への周知により、町民目線があることを職員に意識させることも定着の方法と考えられます。現在、町の公式サイトで確認できない状況ですので、改めて職員の意識、姿勢が伝わるように公式サイトの掲載のあり方等、周知の工夫をしたいと考えます。

### 文化財について

Q 県内自治体の中で指定文化財が最も少ないという現状をどのように考えていますか。

A 教育課長

町内にはいろいろな史跡があり、指定にまで

至っていないものもあります。何らかの形で保存し後世に伝えていくことが責務であると考えています。文化財の指定は、指定基準に則って順次行っていく考えです。

Q 町指定文化財とその他の文化財への町としての対応に、どのような違いがありますか。

A 教育課長

町文化財保護条例に基づいて対応が異なるということはありません。しかし、その他の文化財についても、重要なものについては、予算措置を行い保存に力を入れております。

Q その他の文化財の中で、指定に値すると思われるものはありますか。

A 教育課長

指定を検討しているものはあります。現在、高才原第3地区の発掘を行っています。南九州でよくある住居跡や、地下式横穴墓が確認されてきており、全力を投じて作業に従事しているところです。



地下式横穴墓

Q 梶山城の国指定への最新の手続き状況は。

A 教育課長

上空からの撮影を行い、国指定申請に必要な空中写真撮影とパノラマVR作成も同時に行いました。また、梶山、長田に係る庄内地理志の史料編集も進み、現在校正の最終段階に入っております。

一般質問  
「そこが聞きたい!」



公共交通会議に障がい者の参加は



上西 雅子議員

(総務課長)

A 令和7年度より積極的に登用したい

### 公民館支部加入率の低下について

Q 町行政にとって、その影響と対策は。

A 教育長

地域の互助機能を弱体化するとともに、地域と行政が一緒に取り組んでいる様々な事業にも影響を及ぼす恐れがあり、大変危惧しています。

Q 災害が起きた時、共助や互助の力が必要です。支部加入率低下は、そうした力が十分に発揮できず、防災対策そのものに支障が出るのではないのでしょうか。

A 総務課長

大規模災害が発生した場合、行政が行う「公助」には限界があります。「自助」「共助」の考えを意識づけることが、行政の大きな使命と考えています。現在、各公民館に自主防災組織の設立に向けて取り組んでおり、その事が自治公民館加入促進の一躍を担うものと考えています。

### 交通弱者の移動サービスについて

Q 町で定期的で開催されている「地域公共交通会議」に、障がい者や高齢者等の声は反映されているのですか。

A 総務課長

当会議に、老人クラブや女性団体協議会は構成員に入っていますが、障がい福祉関係者は入っていません。令和7年度は、障がい福祉に関係する人を積極的に登用していきたいと考えています。

Q 障がい者や免許返納者に対して、町が行っている移動支援サービスは。

A 総務課長

70歳以上で免許を返納した人に対して、く

まーる乗車券 12,000円分を配布しています。

A 福祉課長

重度障がい者に対してタクシー利用券を月当たり2枚交付し、初乗り相当分を助成しています。

Q 都城市等にある町外の医療機関に行く為に、何度も乗り換えが必要です。その事に不便を感じるの声を聞きますが、何らかの工夫はできませんか。

A 総務課長

地域公共交通は町内に制限されています。しかし令和6年度に運行開始した「くいまーる市街地巡回路線」は、三股駅から町外にスムーズに移動できるよう、ダイヤ改正を行ったところです。

また、令和7年4月から本稼働する\*バスロケーションシステムで、運行情報を周知できるようになります。

\*バスロケーション…バスの時刻表、現在位置、到着時刻等の情報をリアルタイムで把握できるシステムです。

Q 障がいを持つ方や高齢者に対して、タクシーチケット配布対象者の拡充や、独自の移動支援サービスの提供はできませんか。

A 福祉課長

障がい当事者向けアンケートでも、移動支援サービスが不足しているとの意見が出されています。今後、交通弱者と言われる人々に対して、安全かつ快適に外出しやすい環境を整備し、移動支援サービスの充実などを課題としていきたいと思っております。





# どうする？ 議員のなり手不足！

vol  
2

## 「質問事項」

- ①現在の議会及び議員活動についてどう思われていますか。また、皆さんに議会及び議員活動を知ってもらうためには、何が必要だと思いますか。
- ②「議員のなり手不足」解消のために何が必要だと思いますか。

## 目的とゴール

現在、全国の町村議会では、議員のなり手不足が深刻な問題となっております。議員選挙で無投票・定員割れの団体数が右肩上がり、今後、全体の3分の1を超える議会が無投票になると言われております。

そこで、このなり手不足の原因は何なのか、対策はあるのか、などについて町民の皆様から左記の質問事項についてご意見をいただき、議会改革を進め、地域に貢献しようと志す人が一人でも増えること目指すものです。



わかみや ひろし  
若宮 廣志氏

- ①議会報告会が少ないと感じます。以前は、地区公民館別に議員の皆さんと意見交換会がありました。また議会内で行われる研修や先進地視察などの報告も必要だと感じます。この研修などの成果が、どのように議会活動に生かされるかを知りたいと思います。
- ②地域コミュニティの問題が大きいと思います。つまり自治公民館の加入者も減って、人と人との関係も希薄になっています。地域のコミュニケーションを深め、つながりをつくり、問題意識を持てば、その解決のため議員になって取り組みたいという人が出るのではと思います。報酬は初任給が30万円の時代を考えると、議員専業の場合は少ないと感じます。ただ、活動量にあった報酬であるべきだと思います。報酬については内部で十分検討すべきあると考えます。



かわの ひろし  
川野 浩氏

- ①現在の議会の状況は町民にはあまり伝わっていないと思います。町民は毎日、携帯やパソコンから情報を得ています。議会の活動を知ってもらうために議会広報だけでなくSNSや動画、議会中継など多様なメディアによる情報発信が必要だと思います。
- ②議員のなり手不足には、現在の議員報酬では生活できないという切実さも要因の1つにあると思います。若い人が、今の会社や仕事を辞めて議員に立候補するには魅力ある報酬が必要だと思います。そうした中、新人議員が今回の選挙で4人も立候補し当選したことはとても喜ばしいことです。三股町は県内町村の中でも一番人口も多く住みやすい町ですから、議会として、新しい取り組みや施策をどんどん町に訴えて、他の町村の手本となる存在になってほしいです。

## 編集後記

広報委員として7年ぶりの振り返りとなります。

表紙について以前は、「こんにちは議会です」と語り掛けるような気持ちを込めた表現でしたが、三股町がハートのかたちのまちドキドキみまたとして取り組んでいくようになり、99号から「みまたんぎかい」と親しみやすく柔らかな表現へと変わりました。

しかしながら、手づくりの広報誌としては変わっていません。紙面の内容については、何回も委員会で校正を重ねます。更に、表紙などの写真や裏表紙の記事は、自ら出向いてシャッターを押し取材を行います。そして、今後も変わらず読みたくなるような広報誌づくりに努めて参ります。

(堀内義郎)